

野菜の需給・価格動向レポート(平成24年12月3日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	10月の価格動向		11月の価格動向		生育及び価格の12月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基とな る平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロック 旬別平均販売価 額	(参考) 保証基準額の 算定の基とな る平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額				
		下旬		上旬				
葉 茎 菜	キャベツ	74.19	42	66.3	46	46	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 13,544 (105) 主産地: 愛知 (46)、千葉 (33)、神奈川 (10)、茨城 (8) 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知産は、引き続き順調な生育で玉の肥大も進み、潤沢な出荷の見込み。千葉産は、定植時期が遅れたものと通常の時期のもの出荷が重なり、多めの出荷となっていたものの、今後は平年並みの出荷の見込み。茨城産は、出荷のピークが過ぎ、徐々に減少する見込み。 愛知産と千葉産との出荷が潤沢と見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		88.91	50	69.92	48	46	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 4,200t (115) 主産地: 愛知 (56)、茨城 (8) 	
	ねぎ	218.22	254	218.22	264	271	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込数量: 6,456t (97) 主産地: 千葉 (23)、茨城 (18)、埼玉 (17)、群馬 (11)、栃木 (6)、輸入 (3) 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、播種時期の高温少雨の影響で、細物中心で平年より少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。茨城産は、生育が回復し順調な生育となり、太物比率も高まって、平年並みの出荷の見込み。 千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		314.62	313	314.62	322	329	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込数量: 790t (85) 主産地: 鳥取 (30)、群馬 (21)、埼玉 (14)、静岡 (7)、福井 (7)、大分 (6) 	
	はくさい	54.1	55	36.65	47	38	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 14,086t (100) 主産地: 茨城 (95) 	<ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、生育が順調で出荷のピークを迎えることから、価格は、平年並みに推移する見込み。 順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。
		69.44	64	53.29	64	58	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 5,100t (100) 主産地: 茨城 (40)、愛知 (17)、和歌山 (13)、熊本 (12)、岡山 (8) 	
	ほうれんそう	350.1	491	350.1	445	437	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 1,633t (105) 主産地: 群馬 (42)、千葉 (20)、埼玉 (15)、茨城 (13) 	<ul style="list-style-type: none"> 群馬産は、最近の寒さの影響で生育が停滞し、少なめの出荷になっており、上旬までは少なめの出荷の見込み。千葉産は、最近の寒さの影響で少なめの出荷となっていたものの、今後は生育が回復し、徐々に出荷量が増加する見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		416.76	568	416.76	485	530	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 650t (105) 主産地: 徳島 (51)、福岡 (20)、群馬 (14)、岐阜 (7) 	
	レタス	136.79	99	136.79	139	147	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 7,760t (100) 主産地: 静岡 (31)、兵庫 (19)、香川 (14)、茨城 (10)、千葉 (5)、福岡 (4) 	<ul style="list-style-type: none"> 静岡産は、定植の遅れ等により少なめの出荷となっているものの、今後は徐々に出荷量が増加する見込み。兵庫産は、天候の回復により出荷量の増加が見込まれるもの、平年には届かない見込み。茨城産は、気温の低下の影響により小玉傾向で少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。 兵庫産及び茨城産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。
		147.25	146	147.25	176	168	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 1,350t (104) 主産地: 兵庫 (46)、徳島 (27)、香川 (11)、熊本 (7) 	
	たまねぎ	76.15	67	76.15	65	65	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 10,913t (110) 主産地: 北海道 (88)、輸入 (3) 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道産は、作柄良好で前年を上回る出荷となっている。今後も平年並みの出荷の見込み。 順調な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		76.15	69	76.15	68	66	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 4,200t (104) 主産地: 北海道 (61)、兵庫 (35) 	
果 菜	きゅうり	262.75	294	262.75	338	316	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 4,360t (100) 主産地: 宮崎 (38)、千葉 (20)、高知 (16)、埼玉 (15) 	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎産及び千葉産は、順調な出荷で平年並みの出荷の見込み。高知産は、中旬のピークに向けて、出荷量が増加する見込み。埼玉産は、ピークを過ぎ減少傾向であるものの、平年並みの出荷の見込み。 順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		284.72	285	284.72	327	313	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 1,050t (109) 主産地: 宮崎 (45)、高知 (22)、徳島 (15)、愛媛 (6) 	
	トマト	315.83	635	315.83	677	624	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 4,445t (103) 主産地: 熊本 (40)、愛知 (23)、千葉 (9)、静岡 (6) 	<ul style="list-style-type: none"> 熊本産は、生育の遅れの回復とともに出荷量が増加し、平年並みの出荷になる見込み。愛知産は、順調な生育で出荷量が徐々に増加し、中旬までは平年並みの出荷の見込み。 出荷量の増加が見込まれるもの、需要が堅調なことから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		337.88	637	337.88	659	611	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 940t (115) 主産地: 熊本 (55)、愛知 (19)、徳島 (8)、福岡 (8) 	
	なす	301	246	301	287	336	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 1,720t (100) 主産地: 高知 (58)、福岡 (20)、佐賀 (6) 	<ul style="list-style-type: none"> 高知産は、年内のピークを過ぎ、やや少なめの出荷となっている。今後は最近の曇天の影響により、平年より少なめの出荷の見込み。福岡産も、最近の寒さの影響により、平年より少なめの出荷となつており、今後も少なめの出荷の見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。
		263.21	237	263.21	294	335	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 290t (96) 主産地: 熊本 (36)、高知 (32)、福岡 (13)、岡山 (11) 	
	ピーマン	263.58	242	344.39	221	222	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 1,410t (100) 主産地: 茨城 (44)、宮崎 (26)、高知 (19)、鹿児島 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、秋作が年末の切り上がりに向けて徐々に減少する見込み。高知産は、最近の曇天の影響により出荷量の減少が見込まれ、平年より少なめの出荷の見込み。宮崎産は、生育が順調で平年を上回る出荷となる見込み。 宮崎産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		282.16	244	353.61	227	231	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 290t (116) 主産地: 宮崎 (56)、高知 (25)、鹿児島 (16) 	
根 菜	だいこん	64.33	69	64.33	65	55	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 12,410t (100) 主産地: 神奈川 (48)、千葉 (45) 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、順調な生育で、平年並みの出荷の見込み。神奈川産も、生育良好で肥大も進み、平年並みの出荷の見込み。 潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。
		76.48	78	76.48	75	65	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 3,600t (99) 主産地: 和歌山 (26)、鹿児島 (26)、長崎 (23)、徳島 (18) 	
	にんじん	123.08	82	100.82	86	100	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 8,690t (100) 主産地: 千葉 (83)、埼玉 (8)、茨城 (2)、輸入 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、播種時期の遅れと10月の降雨の影響により、生育の遅れや割れが発生し、少なめの出荷となつており、今後も少なめの出荷となる見込み。埼玉産は、少なめの出荷となつていたものの、今後は肥大が進み、出荷量が増加する見込み。 千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。
		123.11	82	104.49	91	91	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 2,100t (103) 主産地: 長崎 (60)、千葉 (18)、鳥取 (16) 	

種類	10月の価格動向	11月の価格動向			生育及び価格の12月の見通し			
		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格				
			下旬	上旬				
いも	さといも	200.88	199	200.88	189	189	・入荷見込量：2,090t (100) ・主産地：埼玉 (53)、千葉 (21)、輸入 (6)、栃木 (4)	・埼玉産は、収穫作業のピークを迎えており、夏場の少雨の影響で小玉傾向ではあるものの、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、生育が順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		207.2	213	207.2	222	243	・入荷見込量：288t (-) ・主産地：宮崎 (34)、愛媛 (30)、福井 (13)、熊本 (5)、輸入 (5)、大阪 (2)	
	ばれいしょ	88.17	79	88.17	78	80	・入荷見込量：8,943t (105) ・主産地：北海道 (83)	・北海道産は、玉伸びも良く、引き続き安定した出荷となっている。収穫時の高温のため発芽等が見られたものの、特に大きな影響はなく、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		88.17	76	88.17	77	80	・入荷見込量：3,700t (94) ・主産地：北海道 (75)、長崎 (25)	

1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)。

2) 別別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)。

3) 単位は円/k g、上段は関東、下段は近畿。

4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。

5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。

6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、10月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、5.174 gで前年比103%、購入金額は、1,745円で同93%となり、購入数量は前年をやや上回り、購入金額はかなり下回った。		生鮮野菜の購入数量及び金額(1人当たりの購入数量と金額)						主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移(単位:円/k g)					
年	過去5か年平均	平成23年		平成24年		過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)		
	購入数量(g)	金額(円)	購入数量(g)	金額(円)	購入数量(g)	前年比	金額(円)	前年比	購入数量(g)	平成24年	5か年比(%)		
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104	166	230	138	547	690
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	4,499	105	1,735	107	177	247	140	508	691
3月	4,815	1,721	4,867	1,788	4,584	94	1,851	104	188	238	126	461	692
4月	4,779	1,812	4,796	1,789	4,620	96	1,904	106	238	262	110	462	513
5月	5,109	1,894	5,171	1,820	4,945	96	1,948	107	172	196	114	380	409
6月	5,043	1,872	4,904	1,857	5,103	104	1,875	101	144	127	88	350	305
7月	4,441	1,696	4,362	1,759	4,386	101	1,675	95	160	119	75	324	292
8月	4,348	1,719	4,392	1,717	4,245	97	1,618	94	156	111	71	463	296
9月	4,831	1,804	4,598	1,803	4,916	107	1,703	94	155	101	65	562	307
10月	5,262	1,862	5,037	1,884	5,174	103	1,745	93	161	101	63	505	325
11月	5,016	1,636	5,091	1,613	0	0	0	0	162	100	62	371	382
12月	5,145	1,834	4,998	1,792	0	0	0	0	153	0	0	453	0

資料:総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

1) 過去5か年は平成19~23年の平均。

2) 平成24年11月の値は、11月中旬の速報値。

資料:総務省「小売物価統計調査報告」

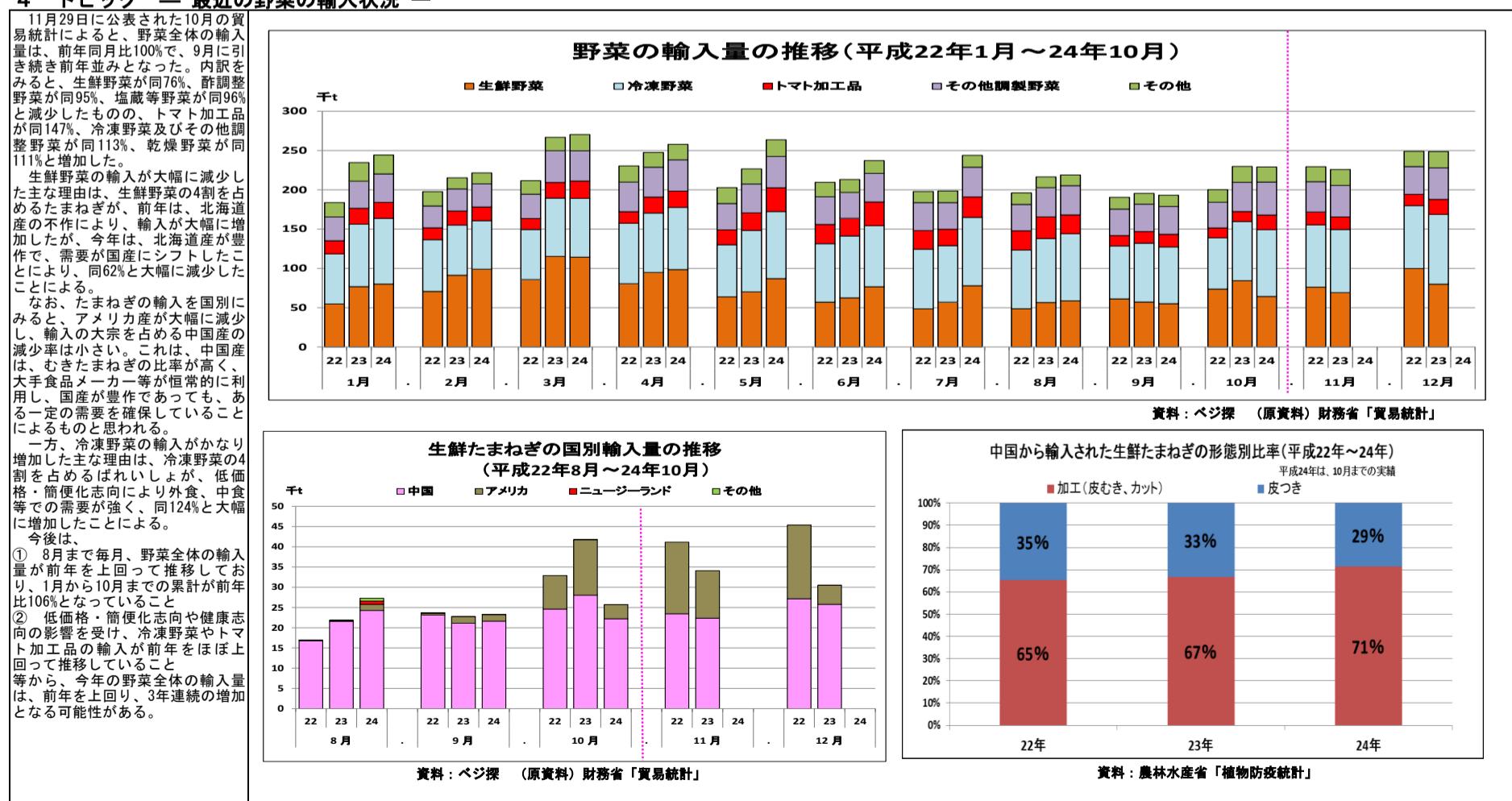
3 野菜の輸入動向

10月の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は前年比76%の6万トン、加工野菜は、同113%の16万トン、野菜全体では同100%の23万トン、うち中国産は同95%の12万トンとなつた。生鮮野菜は前年を大幅に下回り、加工野菜はかなり上回り、野菜全体は前年並みであった。	野菜の輸入数量の推移(単位:トン、%)						主な野菜の輸入動向(単位:トン、%)							
	区分	平成22年		平成23年		平成24年1~10月		平成24年10月		品目	輸入先	平成23年10月(A)	平成24年10月(B)	(B)/(A)
		前年比		前年比		前年同期比		前年同月比						
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	811,272	106	64,301	76	たまねぎ	合計	43,059	26,379	61	
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	1,568,471	106	164,732	113	中国		27,886	22,758	82	
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	2,379,742	106	229,032	100	アメリカ		15,150	3,597	24	
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	1,208,955	105	124,039	95	にんじん	合計	7,760	7,421	96	
中国産シェア	51		52		51		54		中国		7,669	7,279	95	

資料:ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

資料:農林水産省「植物防疫統計」。平成24年10月は、速報値である。

4 トピック — 最近の野菜の輸入状況 —



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。